

実施計画(令和2年度～令和4年度)事業一覧(節毎)

7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)

	基本施策 番号	実施施策 番号	事業名
1	①	①	水道事業(第7次拡張)
2	①	③	公共下水道事業
3	①	③	効果促進事業(中城村公共下水道事業接続推進事業)
4	②	②	村道ウフクビリ線災害防除
5	②	②	村道若南線整備工事
6	②	②	中城村橋梁長寿命化修繕事業
7	②	②	中城村橋梁点検
8	③	③	南上原土地区画整理事業
9	④	①	護佐丸バス運行事業
10	⑤	①	新庁舎移設業務
11	⑤	①	中城村新庁舎建設事業
10	⑥	②	吉の浦公園施設機能強化整備計画業務

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			水道事業（第7次拡張）										事業区分			継続事業							
前年度事業費			90,000千円			令和2年度事業費			98,000千円			対前年増減額			8,000千円			実施計画総事業費（令和2～4年度）			570,900千円		
事業概要 給水区域内における給水人口及び給水量の増加に対応するため、水道施設を整備し、住民への安定した給水を目的とする。						第四次総合計画位置付け												担当課					
						施策の大綱		7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）										上下水道課					
						基本施策		① 上下水道の充実										担当係		上水道係			
						実施施策		① 上水道施設の維持管理の充実										担当名		仲地由邦			
						その他関係施策												内線番号		270			
事業期間				平成		29		年		～		令和		8		年		積算資料		有			
事業を実施する必要性と現状の課題												事業実施効果											
生活用水の需要増や地域開発の動向に対応するため、老朽化した水道施設の更新を行い、水の安定供給を図るため年次的に施設整備を行っていく必要がある。												水道管未整備地域への水道管整備や老朽管の布設替えにより、安全で安定的な水の供給が行え、生活向上に寄与することができる。											
令和2年度						令和3年度						令和4年度											
予算項目		事業費（千円）		内 容		予算項目		事業費（千円）		内 容		予算項目		事業費（千円）		内 容							
委託費		35,000		測量設計		委託費		5,900		測量設計		委託費		7,000		測量設計							
工事費		63,000		配水管工事		工事費		427,000		配水池改修工事		工事費		33,000		配水管工事							
合計		98,000				合計		432,900				合計		40,000									
財 源 内 訳						財 源 内 訳						財 源 内 訳											
国庫補助金名		沖縄簡易水道等施設整備費		49,000千円50%		国庫補助金名		沖縄簡易水道等施設整備費		216,450千円50%		国庫補助金名		沖縄簡易水道等施設整備費		20,000千円50%							
県補助金名				千円%		県補助金名				千円%		県補助金名				千円%							
地方債				千円%		地方債				千円%		地方債				千円%							
その他（ ）				49,000千円50%		その他（ ）				216,450千円50%		その他（ ）				20,000千円50%							
一般財源				千円%		一般財源				千円%		一般財源				千円%							
令和2年度目標（KPI等）		配水管整備により水道の安定給水を図る。 （3年間の配水管整備 L=3,000m） （配水池 V=2,000㎡）				令和2年度との相違点		施工箇所（南上原地内）と工事内容（配水池の改修・ポンプ機械設備の更新）				令和3年度との相違点		箇所（和宇慶、津覇、奥間）と工事内容（配水管改修）									
今後の展開		南上原配水池の改修工事（令和3年度予定）				目標		配水池 V=2,000㎡				目標		配水管 L=1,000m									

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			公共下水道事業										事業区分			継続事業			
前年度事業費		268, 101		千円	令和2年度事業費		386, 500		千円	対前年増減額		118, 399		千円	実施計画総事業費（令和2～4年度）		1, 177, 700		千円
事業概要 中城村公共下水道事業は、中城湾南部流域関連公共下水道事業として、平成8年度に着手し平成14年度に一部供用開始をしました。事業の実施に際して、人口密集区域を優先し、事業の進捗に合わせて5～7年を目安に計画を拡大・見直ししながら整備を進めています。 す。					第四次総合計画位置付け										担当課				
					施策の大綱		7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）								上下水道課				
					基本施策		① 上下水道の充実								担当係		下水道係		
					実施施策		③ 下水道事業の推進と住民周知の徹底								担当名		下地良和		
					その他関係施策										内線番号		271		
事業期間		平成		8		年		～		令和		33		年		積算資料			
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果									
都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全に資することを目的として事業を実施する必要があります。 課題としては、村内の下水道接続率が低いことから人口密集区域である南上原地区の下水道整備をおこない、下水道接続率の向上に努めます。										下水道工事の実施により平成30年度末時点で、下水道計画区域354haのうち184haの下水道整備を実施し、進捗率は51.9%となり公衆衛生の向上、公共用水の水質保全に寄与しています。									
令和2年度			令和3年度			令和4年度													
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容											
一般管理費	680	消費税確定申告業務	一般管理費	680	消費税確定申告業務	一般管理費	680	消費税確定申告業務											
維持管理費	35, 500	維持管理負担金	維持管理費	37, 500	維持管理負担金	維持管理費	39, 000	維持管理負担金											
公共下水道費	219, 619	工事・委託	公共下水道費	219, 919	工事・委託	公共下水道費	220, 219	工事・委託											
公債費	130, 500	元利償還金	公債費	134, 500	元利償還金	公債費	138, 300	元利償還金											
予備費	200	予備費	予備費	200	予備費	予備費	200	予備費											
流域下水道負担金	1	建設負担金	流域下水道負担金	1	建設負担金	流域下水道負担金	1	建設負担金											
合計	386, 500		合計	392, 800		合計	398, 400												
財 源 内 訳			財 源 内 訳			財 源 内 訳													
国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%								
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	120, 000	千円 31 %	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	120, 000	千円 31 %	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	120, 000	千円 30 %								
地方債	財政融資資金貸付金	80, 000	千円 21 %	地方債	財政融資資金貸付金	80, 000	千円 20 %	地方債	財政融資資金貸付金	80, 000	千円 20 %								
その他（ ）	下水道使用料等	52, 000	千円 13 %	その他（ ）	下水道使用料等	55, 000	千円 14 %	その他（ ）	下水道使用料等	57, 500	千円 14 %								
一般財源		134, 500	千円 35 %	一般財源		137, 800	千円 35 %	一般財源		140, 900	千円 35 %								
令和2年度目標（KPI等）	人口密集地の下水道整備の推進を図り、整備率を54%まで引き上げます。			令和2年度との相違点	前年と同様に南上原地区の下水道整備を推進します。			令和3年度との相違点	前年と同様に南上原地区の下水道整備を推進します。										
今後の展開	人口密集地である南上原地区の下水道整備完了に努めます。			目標	下水道整備率を58%以上			目標	下水道整備率を61%以上										

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			効果促進事業（中城村公共下水道事業接続推進事業）						事業区分			継続事業											
前年度事業費		3,700		千円		令和2年度事業費		4,000		千円		対前年増減額		300		千円		実施計画総事業費（令和2～4年度）		12,000		千円	
事業概要 下水道整備を進める一方で、下水道接続工事費の補助（合併浄化槽からの接続5万円、単独浄化槽及び汲み取りからの接続10万円）を実施し、住民の負担軽減を図ることにより多くの住民に下水道接続を促します。						第四次総合計画位置付け										担当課							
						施策の大綱		7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）								上下水道課							
						基本施策		① 上下水道の充実								担当係		下水道係					
						実施施策		③ 下水道事業の推進と住民周知の徹底								担当名		下地良和					
						その他関係施策										内線番号		271					
事業期間				平成				年		～		令和				年		積算資料					
事業を実施する必要性と現状の課題												事業実施効果											
平成30年度末時点で下水道接続率は52.3%となっており、下水道接続率はまだ十分ではなく県内の自治体と比較しても低水準となっています。また下水道法において、下水道接続は義務づけられていることから住民への継続的な周知活動を実施し、下水道接続率を向上させる必要があります。												効果促進事業をおこなう以前の平成24年度末で30.1%であった下水道接続率は、平成30年度末時点で52.3%まで上昇し、6年間で22.2%増加しました。											
令和2年度						令和3年度						令和4年度											
予算項目		事業費（千円）		内 容		予算項目		事業費（千円）		内 容		予算項目		事業費（千円）		内 容							
負担金補助及び交付金		4,000		接続補助金		負担金補助及び交付金		4,000		接続補助金		負担金補助及び交付金		4,000		接続補助金							
合計		4,000				合計		4,000				合計		4,000									
財 源 内 訳						財 源 内 訳						財 源 内 訳											
国庫補助金名				千円		%		国庫補助金名				千円		%		国庫補助金名				千円		%	
県補助金名		沖縄振興公共投資交付金		1,500		千円 38 %		県補助金名		沖縄振興公共投資交付金		1,500		千円 38 %		県補助金名		沖縄振興公共投資交付金		1,500		千円 38 %	
地方債				千円		%		地方債				千円		%		地方債				千円		%	
その他（ ）				1,500		千円 38 %		その他（ ）				1,500		千円 38 %		その他（ ）				1,500		千円 38 %	
一般財源				1,000		千円 25 %		一般財源				1,000		千円 25 %		一般財源				1,000		千円 25 %	
令和2年度目標（KPI等）		下水道接続補助の広報・啓蒙活動を推進し、下水道接続率を57%まで引き上げます。				令和2年度との相違点		前年に引き続き、接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。				令和3年度との相違点		前年に引き続き、接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。									
今後の展開		接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。				目標		下水道接続率を60%以上				目標		下水道接続率を62%以上									

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			村道ウフクビリ線災害防除										事業区分		継続事業					
前年度事業費		7,625		千円	令和2年度事業費		123,675		千円	対前年増減額		116,050		千円	実施計画総事業費（令和2～4年度）		213,675		千円	
事業概要					第四次総合計画位置付け										担当課					
村道ウフクビリ線は、県道146号線を起点とし、県道29号線を終点とする村道で、国道329号線から、県道29号線に抜ける為、多くの人が利用する東西に走る重要な幹線である。しかし、丘陵地帯を通る村道の為、過去に災害で通行止めになり、不便な迂回を余儀なくされたこともあった。道路の一部沈下や、擁壁の亀裂等、異常発生箇所を調査し、対策を実施し、利用者の安全性の向上を図る。					施策の大綱		7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)								都市建設課					
					基本施策		② 道路整備の促進								担当係		都市建設係			
					実施施策		② 既存道路における調査及び整備・補修								担当名		佐久田卓弥			
					その他関係施策												内線番号		281	
					事業期間		平成		31		年		～		令和		4		年	
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果										
村道ウフクビリ線は、県道29号線の野嵩方面や、沖縄自動車道北中城インターへ抜ける重要な路線で、多くの人が利用している。しかし過去に土砂崩落等で、通行止めとなり、多くの利用者が大きく迂回せざるを得なくなり、非常な不便を強いたこともあった。現在、道路の沈下や擁壁の亀裂等、異常発生箇所を早期に調査し、対策を実施することにより、災害を未然に防ぐ必要がある。										村道を災害防除対策することにより、多くの利用者の安心安全が図られる。										
令和2年度			令和3年度			令和4年度														
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容												
工事請負費	99,675	対策工事	工事請負費	51,000		工事請負費	39,000													
委託費	24,000	調査測量設計																		
合計	123,675		合計	51,000		合計	39,000													
財 源 内 訳			財 源 内 訳			財 源 内 訳														
国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	98,900	千円	80	%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	40,800	千円	80	%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	31,200	千円	80	%			
県補助金名			千円		%	県補助金名			千円		%	県補助金名			千円		%			
地方債			千円		%	地方債			千円		%	地方債			千円		%			
その他（ ）			千円		%	その他（ ）			千円		%	その他（ ）			千円		%			
一般財源		24,775	千円	20	%	一般財源		10,200	千円	20	%	一般財源		7,800	千円	20	%			
令和2年度目標（KPI等）	令和2年度は、一部対策工事と、次年度の調査測量設計業務を発注し、原因の把握と、今後の対策を決める。				令和2年度との相違点	令和3年度は、一部対策工事と、次年度の調査測量設計業務を発注し、原因の把握と、今後の対策を決める。				令和3年度との相違点	令和4年度は、対策工事を実施する。									
今後の展開	対策工事と次年度の工事区間の委託業務を実施し、令和4年度の完成を目指す。				目標	対策工事と次年度の工事区間の委託業務を実施し、令和4年度の完成を目指す。				目標	対策工事を実施し、令和4年度の完成を目指す。									

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			村道若南線整備工事										事業区分		継続事業			
前年度事業費		0	千円	令和2年度事業費		39,000		千円	対前年増減額		39,000		千円	実施計画総事業費（令和2～4年度）		39,000		千円
事業概要 村道若南線は旧県道を起点とし、村道坂田線を終点とする、なだらかな登り勾配の村道で地域の生活道路として利用されているが、道路整備及び排水路の整備がなされていない状況で、地域住民に大きな支障をきたしていることから、住民及び利用者への安全性を図ることを目的とする。				第四次総合計画位置付け										担当課				
				施策の大綱		7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)								都市建設課				
				基本施策		② 道路整備の促進								担当係	都市建設係			
				実施施策		② 既存道路における調査及び整備・補修								担当名	佐久田卓弥			
				その他関係施策										内線番号	281			
事業期間		平成	26	年	～	令和	2	年	積算資料									
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果								
村道若南線は旧県道29号線を起点とし、村道坂田線を終点とする二級村道である。本路線は道路側溝が整備されていない為排水処理に問題がある。又、道路幅も1.5mと狭いため車両のすれちがい困難な状況であるため、側溝を整備し、道路を拡幅することによって道路の安全性を高める。（L=959m）										村道の整備を行うことにより、地域住民の土地の有効利用が図られるとともに生活環境がよくなり、安心・安全な住みよい街づくりが期待できる。								
令和2年度			令和3年度			令和4年度												
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容										
工事請負費	39,000	改良舗装工事	工事請負費			工事請負費												
合計	39,000		合計	0		合計	0											
財 源 内 訳			財 源 内 訳			財 源 内 訳												
国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	31,200	千円	80	%	国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%					
県補助金名			千円		%	県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%					
地方債			千円		%	地方債		千円	%	地方債		千円	%					
その他（ ）			千円		%	その他（ ）		千円	%	その他（ ）		千円	%					
一般財源		7,800	千円	20	%	一般財源		千円	%	一般財源		千円	%					
令和2年度目標（KPI等）	村道若南線で、用地買収が難航した区間約120mを改良舗装し、若南線の改良を完成する。		令和2年度との相違点			令和3年度との相違点												
今後の展開			目標			目標												

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名		中城村橋梁長寿命化修繕事業										事業区分		継続事業	
前年度事業費		千円		令和2年度事業費		45,476千円		対前年増減額		45,476千円		実施計画総事業費（令和2～4年度）		84,066千円	
事業概要				第四次総合計画位置付け										担当課	
平成19年に国交省道路局長により橋梁の「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」が通知され、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。また、5年毎の法定点検を平成28年、29年に実施し、その結果に基づき、橋梁の修繕や掛け替えを計画的に実施し、橋梁の破損・倒壊等を未然に防ぎ道路通行止めを防止し、住民及び利用者の安全性を図ることを目的とする。				施策の大綱		7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)						都市建設課			
				基本施策		② 道路整備の促進						担当係		都市建設係	
				実施施策		② 既存道路における調査及び整備・補修						担当名		佐久田卓弥	
				その他関係施策								内線番号		281	
				事業期間		平成		24		年		～		令和	
事業を実施する必要性と現状の課題												事業実施効果			
橋梁長寿命化計画を策定し従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保する。また、5年毎に橋梁の定期点検をすることが法定化されたため、全橋梁を再点検しなければならない。												従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕及び計画的な架替えへと維持管理方法を変更する事でコスト縮減及び安全性、信頼性の確保をでき、今後のライフサイクルコストを考慮した中長期的な観点から、対策の優先順位を判断することで、予算の有効活用と事業費の平準化が期待される。			
令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
予算項目		事業費（千円）	内 容	予算項目		事業費（千円）	内 容	予算項目		事業費（千円）	内 容	予算項目		事業費（千円）	内 容
工事請負費		22,036	2 橋	工事請負費		38,590	2 橋								
委託費		23,440	2 橋												
合計		45,476		合計		38,590		合計		0					
財 源 内 訳				財 源 内 訳				財 源 内 訳				財 源 内 訳			
国庫補助金名		社会資本整備総合交付金		36,380	千円	80	%	国庫補助金名		社会資本整備総合交付金		30,800	千円	80	%
県補助金名					千円		%	県補助金名					千円		%
地方債					千円		%	地方債					千円		%
その他（ ）					千円		%	その他（ ）					千円		%
一般財源				9,096	千円	20	%	一般財源				7,790	千円	20	%
令和2年度目標（KPI等）		令和2年度は、2 橋（伊集和宇慶旧県道線 2 号、愛知線）の修繕工事を実施し、2 橋（南伸 1 号線 1 号、新川線 1 号）の調査設計委託業務を発注する。						令和2年度との相違点		令和3年度は、2 橋（南伸 1 号線 1 号、新川線 1 号）の修繕工事を実施する。					
今後の展開		健全度の判定が悪い橋梁を計画的に修繕をし、道路の安全を確保する。						目 標		健全度の判定が悪い橋梁を計画的に修繕をし、道路の安全を確保する。					

実施計画書（令和２年度～令和４年度）

事業名			中城村橋梁点検						事業区分		継続事業				
前年度事業費		0	千円	令和２年度事業費		8,900	千円	対前年増減額		8,900	千円	実施計画総事業費（令和2～4年度）		38,000	千円
事業概要				第四次総合計画位置付け								担当課			
平成19年に国交省道路局長により橋梁の「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」が通知され、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。また、5年毎の法定点検を平成28年、29年に実施し、その結果に基づき、橋梁の修繕や掛け替えを計画的に実施し、橋梁の破損・倒壊等を未然に防ぎ道路通行止めを防止し、住民及び利用者の安全性を図ることを目的とする。				施策の大綱		7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)						都市建設課			
				基本施策		② 道路整備の促進						担当係		都市建設係	
				実施施策		② 既存道路における調査及び整備・補修						担当名		佐久田卓弥	
				その他関係施策								内線番号		281	
				事業期間		平成			年	～	令和		年	積算資料	
事業を実施する必要性と現状の課題								事業実施効果							
橋梁長寿命化計画を策定し従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保する。また、5年毎に橋梁の定期点検をすることが法定化されたため、全橋梁を再点検しなければならない。								従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕及び計画的な架替えへと維持管理方法を変更する事でコスト縮減及び安全性、信頼性の確保をでき、今後のライフサイクルコストを考慮した中長期的な観点から、対策の優先順位を判断することで、予算の有効活用と事業費の平準化が期待される。							
令和２年度			令和３年度			令和４年度									
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容							
委託費	8,900		委託費	29,100		工事請負費									
合計	8,900		合計	29,100		合計	0								
財 源 内 訳			財 源 内 訳			財 源 内 訳									
国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	7,100 千円 80 %	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	23,200 千円 80 %	国庫補助金名		千円 %							
県補助金名		千円 %	県補助金名		千円 %	県補助金名		千円 %							
地方債		千円 %	地方債		千円 %	地方債		千円 %							
その他（ ）		千円 %	その他（ ）		千円 %	その他（ ）		千円 %							
一般財源		1,800 千円 20 %	一般財源		5,900 千円 20 %	一般財源		千円 %							
令和2年度目標（KPI等）	令和２年度は、平成２８年度に実施した法定点検から５年となるため、平成２８年度に実施した５橋の法定点検を実施する。		令和2年度との相違点	令和３年度は、平成２８年度に実施した法定点検から５年となるため、平成２８年度に実施した３９橋の法定点検を実施する。		令和3年度との相違点									
今後の展開	今後も、５年ごとに点検を実施する。		目標	今後も、５年ごとに点検を実施する。		目標									

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			南上原土地区画整理事業										事業区分		継続事業								
前年度事業費		187,651		千円	令和2年度事業費		189,800		千円	対前年増減額		2,149		千円	実施計画総事業費（令和2～4年度）		449,400		千円				
事業概要 学園都市として琉球大学との調和のとれた街並みを形成するとともに、中城村の新たな緑住スタイルを提案していく居住環境づくり、暮らしの情報発信の場としての地区形成を図る。					第四次総合計画位置付け										担当課								
					施策の大綱		7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）								都市建設課								
					基本施策		③ 均衡のとれた土地利用の推進								担当係		区画整理係						
					実施施策		③ 土地区画整理事業の推進								担当名		永田 勉						
					その他関係施策										内線番号		282						
事業期間			平成		4	年	～	令和	4	年	積算資料		有										
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果													
琉球大学の移転に伴い南上原地区周辺の地域環境が変わってきており、こうした変化に対応して、住宅地・商業地・公園・学校等のインフラ整備を行い、快適で住みよい住環境を構築し健全な市街地形成を図る必要がある。 今後は、事業完了にむけて換地計画・換地処分に取組んでいく。										築造工事、物件補償を進めることで、整備された宅地の住宅建築の促進を図る。換地計画書の整理を行い換地処分の準備を整える。													
令和2年度					令和3年度					令和4年度													
予算項目		事業費（千円）		内 容	予算項目		事業費（千円）		内 容	予算項目		事業費（千円）		内 容									
工事費		30,000			委託費		140,000			委託費		100,000											
委託費		150,000			事務費		9,800			事務費		9,800											
事務費		9,800																					
合計		189,800			合計		149,800			合計		109,800											
財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳													
国庫補助金名				千円	%	国庫補助金名				千円	%	国庫補助金名				千円	%						
県補助金名				千円	%	県補助金名				千円	%	県補助金名				千円	%						
地方債				千円	%	地方債				千円	%	地方債				千円	%						
その他（ ）		保留地処分金、基金		189,800	千円	100	%	その他（ ）		保留地処分金、基金		149,800	千円	100	%	その他（ ）		保留地処分金、基金		109,800	千円	100	%
一般財源				千円	%	一般財源				千円	%	一般財源				千円	%						
令和2年度目標（KPI等）		事業進捗率97%（事業計画変更後） 換地計画書の作成 町界町名変更計画			令和2年度との相違点		換地計画書の整理を行い、換地処分の準備を進める。			令和3年度との相違点		登記資料作成、換地計画認可 換地処分公告											
今後の展開		換地計画書の作成			目標		換地計画書の作成			目標		換地処分公告											

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			護佐丸バス運行事業										事業区分			継続事業							
前年度事業費		21,305		千円	令和2年度事業費		28,573		千円	対前年増減額		7,268		千円	実施計画総事業費（令和2～4年度）		72,435		千円				
事業概要 地形的に分断されている平坦地区と台地地区の上下（東西）の往来が出来る公共交通及び空白地帯への日常生活の足の確保など、交通弱者となる住民への生活環境をよくするため、村内コミュニティバスを運行させる。					第四次総合計画位置付け										担当課								
					施策の大綱		7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）								企画課								
					基本施策		④ 公共交通網の拡充								担当係		企画調整係						
					実施施策		① コミュニティバス等導入の検討								担当名		新屋敷						
					その他関係施策										内線番号		302						
事業期間				平成		8		年	～		令和		33		年	積算資料							
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果													
中城村は公共交通が軟弱であり、住民の移動手段は主に329号線を運行しているバスのみであり、上地区と下地区を結ぶ公共交通は存在しないことから、買い物等における日常生活に支障をきたしている状況である。さらに宜野湾市等にある高校への通学するための公共交通の確保は必須であることや、高齢者等の交通弱者に対する支援が求められている。										住民生活の中で自動車が一般化している中でも高齢者・障害者や児童・生徒など自動車を利用できない交通弱者へ移動手段を確保することにより、自立した日常生活及び社会生活に寄与させる。													
令和2年度					令和3年度					令和4年度													
予算項目		事業費（千円）		内 容		予算項目		事業費（千円）		内 容		予算項目		事業費（千円）		内 容							
委託料		20,200		バス運行委託料		委託料		20,200		バス運行委託料		委託料		20,200		バス運行委託料							
需用費		1,596		バス券・タイヤ、ライト等		需用費		1,596		バス券・タイヤ、ライト等		需用費		1,596		バス券・タイヤ、ライト等							
役務費		93		車検手数料・保険料		役務費		93		車検手数料・保険料		役務費		93		車検手数料・保険料							
公課費		42		重量税		公課費		42		重量税		公課費		42		重量税							
備品購入費		6,642		代替え車																			
合計		28,573				合計		21,931				合計		21,931									
財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳													
国庫補助金名				千円		%	国庫補助金名				千円		%	国庫補助金名				千円		%			
県補助金名		石油貯蔵施設設立地対策交付金		3,500	千円	12	%	県補助金名				千円		%	県補助金名				千円		%		
地方債					千円		%	地方債				千円		%	地方債				千円		%		
その他（ ）		運賃収入		5,000	千円	17	%	その他（ ）		運賃収入		5,000	千円	23	%	その他（ ）		運賃収入		5,000	千円	23	%
一般財源				20,073	千円	70	%	一般財源				16,931	千円	77	%	一般財源				16,931	千円	77	%
令和2年度目標（KPI等）		護佐丸バス利用者の増加 利用者数 33,000人 （平成29年度実績31,000人）					令和2年度との相違点		路線変更及び各種路線バスとの結節点についての検討					令和3年度との相違点		路線変更及び各種路線バスとの結節点についての検討							
今後の展開		運行ルート等における検討					目標		利用者の増加					目標		利用者の増加							

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			新庁舎移設業務										事業区分		新規事業（通常）								
前年度事業費		0		千円		令和2年度事業費		10,093		千円		対前年増減額		10,093		千円		実施計画総事業費（令和2～4年度）		10,093		千円	
事業概要 令和2年度の役場庁舎移転に伴い、防災関連のシステム等移設業務を実施し、より効率的な村民サービスの向上を図る。						第四次総合計画位置付け										担当課							
						施策の大綱		7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）										総務課					
						基本施策		⑤ 公共施設の整備・活用										担当係		総務係			
						実施施策		① 公共施設の整備等の推進										担当名		比嘉聖也			
						その他関係施策														内線番号		213	
事業期間				平成		1		年		～		令和				年		積算資料					
事業を実施する必要性と現状の課題												事業実施効果											
老朽化が進む役場庁舎は、より効率的な村民サービスの提供という観点や、東日本大震災クラスの大津波が本村を襲った場合の避難指示の中核拠点としての機能を満たす整備が必要であることから、現在新庁舎の建設工事を実施している。新庁舎の建設工事に伴い、防災関連のシステム移設が必要である。												新庁舎へ防災関連のシステム移設業務を行うとともに、システム等の機能強化を行い、村民サービスの向上を図ることができる。											
令和2年度						令和3年度						令和4年度											
予算項目		事業費（千円）		内 容		予算項目		事業費（千円）		内 容		予算項目		事業費（千円）		内 容							
委託費		8,743		防災行政無線																			
委託費		1,135		沖縄県震度情報NW																			
委託費		215		県防災情報システム																			
委託費				沖縄県総合行政NW																			
合計		10,093				合計		0				合計		0									
財 源 内 訳						財 源 内 訳						財 源 内 訳											
国庫補助金名				千円		%		国庫補助金名				千円		%		国庫補助金名				千円		%	
県補助金名				千円		%		県補助金名				千円		%		県補助金名				千円		%	
地方債				千円		%		地方債				千円		%		地方債				千円		%	
その他（ ）				千円		%		その他（ ）				千円		%		その他（ ）				千円		%	
一般財源				10,093		千円 100 %		一般財源				千円		%		一般財源				千円		%	
令和2年度目標（KPI等）		防災関連のシステム移設				令和2年度との相違点						令和3年度との相違点											
今後の展開		令和2年度に新庁舎へ防災関連のシステム移設業務を行うとともに、システム等の機能強化				目標						目標											

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名		中城村新庁舎建設事業										事業区分		継続事業					
前年度事業費		千円		令和2年度事業費		449,664千円		対前年増減額		449,664千円		実施計画総事業費（令和2～4年度）		449,664千円					
事業概要 役場庁舎を新築することにより、バリアフリー化を進め、効率的でより良い住民サービスの提供を図る。また、耐震性・耐久性を考慮した庁舎を建設することにより、災害時の指示系統の中核としての機能を保持し、地域住民の安全・安心な暮らしを守る。				第四次総合計画位置付け								担当課							
				施策の大綱		7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）						総務課・都市建設課（工事）							
				基本施策		⑤ 公共施設の整備・活用						担当係		総務係					
				実施施策		① 公共施設の整備等の推進						担当名		根間 忠					
				その他関係施策								内線番号		210					
事業期間		平成		25		年		～		令和		2		年		積算資料			
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果									
建設後40年以上を経過し、老朽化の著しい役場庁舎について、より効率的な住民サービス提供の観点、また、大規模災害発生の際、指示系統の中核となるべき施設であるという観点からも、現庁舎の耐震性・災害耐久性に不安があることから、新庁舎の建設を早急に進める必要がある。										バリアフリーを取り入れた新たな庁舎を建設することで、利用しやすい施設として、より良い住民サービスの提供を行う。また、災害に耐える庁舎とすることで、防災拠点として、地域住民の安全・安心な暮らしを守る。									
令和2年度			令和3年度			令和4年度													
予算項目		事業費（千円）	内 容	予算項目		事業費（千円）	内 容	予算項目		事業費（千円）	内 容								
工事請負費		86,064	外構工事																
備品購入費		188,557	什器購入																
委託費		19,192	電話交換機、施工管理																
工事費		7,120	防犯カメラ、機械警備																
委託費		1,350	建築物環境衛生管理業務																
委託費		8,860	落成式、引越、																
備品購入費		38,521	議会システム																
工事費		100,000	解体費（本庁舎、第2、水道）																
合計		449,664		合計		0		合計		0									
財 源 内 訳				財 源 内 訳				財 源 内 訳											
国庫補助金名			千円		%	国庫補助金名			千円		%	国庫補助金名			千円		%		
県補助金名			千円		%	県補助金名			千円		%	県補助金名			千円		%		
地方債		95,000	千円	21	%	地方債			千円		%	地方債			千円		%		
その他（ ）		318,868	千円	71	%	その他（ ）			千円		%	その他（ ）			千円		%		
一般財源		35,796	千円	8	%	一般財源			千円		%	一般財源			千円		%		
令和2年度目標（KPI等）		外構工事の完了			令和2年度との相違点					令和3年度との相違点									
今後の展開		令和2年度内に庁舎移転を行い業務を開始する。			目標					目標									

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名			吉の浦公園施設機能強化整備計画業務							事業区分		継続事業								
前年度事業費		21,394	千円	令和2年度事業費		89,300	千円	対前年増減額		67,906	千円	実施計画総事業費（令和2～4年度）		883,540	千円					
事業概要				第四次総合計画位置付け								担当課								
現在プロサッカーチームのキャンプ地として利用されている吉の浦公園施設にて、継続的なキャンプ受入の環境を整えるため専用芝の適正管理を行うとともに、更なるキャンプ誘致や地域活性化に向けた各種スポーツ宿泊・大会等の開催によるスポーツコンベンションを促進するための拠点として吉の浦公園の整備計画に基づき計画的に施設の機能強化を図っていく。				施策の大綱		7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）						生涯学習課								
				基本施策		⑥ 公園・緑地の整備						担当係		体育振興係						
				実施施策		② 公園の充実						担当名		仲松						
				その他関係施策								内線番号		711						
				事業期間		平成			年	～	令和	4	年	積算資料	無					
事業を実施する必要性と現状の課題								事業実施効果												
現在、サッカー専用芝の適正管理により県内屈指の質の高い芝環境を維持しプロサッカーチームのキャンプ地として定着しつつある。今後も継続してキャンプ受入のため適正な芝管理は必要である。また、吉の浦公園各施設は、本村のスポーツコンベンションの中心的施設として活用されているが、各施設とも老朽化等が進み危険箇所や機能不全、また備品の不備等の問題を抱えている。本村の生涯スポーツ拠点として更なる活用のため、施設全体を計画的に整備することで機能強化を推進する必要がある。								計画的に施設整備を行い、効率的に各施設の機能強化を推進することで、キャンプ地としての魅力が増すだけでなく、各種スポーツの大会等の開催や村内各団体のスポーツ活動の活性化といった生涯スポーツの拡充が図られる。												
令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度					
予算項目		事業費（千円）	内 容		予算項目		事業費（千円）	内 容		予算項目		事業費（千円）	内 容		予算項目		事業費（千円）	内 容		
委託費①		9,000	芝管理委託料		委託費		9,000	芝管理委託料		委託費①		9,000	芝管理委託料		委託費①		9,000	芝管理委託料		
委託費②		72,300	管理棟整備設計委託料		工事費		474,000	管理棟整備工事		委託費②		38,900	遊歩道舗装、照明、看板整備工事設計委託料		委託費②		38,900	遊歩道舗装、照明、看板整備工事設計委託料		
工事費		8,000	管理棟取壊工事		備品購入費		2,000	体育備品購入		工事費		259,340	遊歩道舗装、照明、看板整備工事		工事費		259,340	遊歩道舗装、照明、看板整備工事		
備品購入費										備品購入		2,000	体育備品購入		備品購入		2,000	体育備品購入		
合計		89,300			合計		485,000			合計		309,240			合計		309,240			
財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳					
国庫補助金名		沖縄振興特別推進市町村交付金	71,440	千円	80	%	国庫補助金名		沖縄振興特別推進市町村交付金	388,000	千円	80	%	国庫補助金名		沖縄振興特別推進市町村交付金		千円		%
県補助金名				千円		%	県補助金名				千円		%	県補助金名				千円		%
地方債				千円		%	地方債				千円		%	地方債				千円		%
その他（ ）				千円		%	その他（ ）				千円		%	その他（ ）				千円		%
一般財源			17,860	千円	20	%	一般財源			97,000	千円	20	%	一般財源			309,240	千円	100	%
令和2年度目標（KPI等）		・吉の浦公園利用者数 ・スポーツ団体の利用件数			令和2年度との相違点		陸上競技場管理棟整備工事			令和3年度との相違点		遊歩道舗装、照明、看板整備工事								
今後の展開		管理棟整備工事			目標		整備基本計画に基づく施設整備を推進し、サッカーキャンプ受入の強化を図るほか、生涯スポーツの拠点としての利便性の向上を図る			目標		遊歩道を活用したジョギング、ウォーキングコースや散歩道など、日常的に村民が利用することにより健康増進等の推進を図る。								